

コロナ禍において、優先すべき多文化共生の取組

<課題>

新型コロナウイルス感染症の影響を把握するため、令和2年度に身分資格の多いブラジル人及びフィリピン人県民を対象にインターネットを活用した調査を実施したところ、情報提供や通訳等の支援や、相談窓口及び就職に関する要望が多かった。

○「強く望む」と回答した率が多い順

選択肢	令和3年 3月 (A)	令和2年 12月 (B)	差 (A)-(B)	令和2年 9月
母語で受診可能な医療機関の情報	70%	69%	+1ポイント	67%
医療機関での通訳サービス	63%	63%	0ポイント	67%
市役所の手続等に必要 な通訳の支援	63%	56%	+7ポイント	56%
就職・転職のための技能・ 技術や日本語学習の支援	60%	58%	+2ポイント	61%
母語で相談可能な福祉等 の窓口設置	58%	52%	+6ポイント	62%
就職のための情報提供	55%	39%	+16ポイント	56%

<優先すべき取組>

区分	課題	令和2年度取組	令和3年度取組
情報提供	外国人県民が必要な情報に容易にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> 「外国人県民への情報提供に関するガイドライン」の策定 国際交流員による迅速な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 「多言語情報ポータルサイト」の構築 「外国人県民への情報提供に関するガイドライン」の運用 国際交流員による迅速な情報発信
相談対応	通訳等のコミュニケーション支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> 19言語で対応する新型コロナウイルス多言語相談ホットラインの設置運営 「かめりあ」及び各市町の外国人相談窓口における相談対応 	<ul style="list-style-type: none"> 19言語で対応する新型コロナウイルス多言語相談ホットラインの運営 「かめりあ」及び各市町の外国人相談窓口及び各種県民相談窓口との連携強化
活躍推進	非正規雇用が多く、コロナ禍で不安定な状況	<ul style="list-style-type: none"> 外国人学校に通う生徒への正規雇用への支援 経済産業部、教育委員会における就業促進等事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施校を2校から6校に拡充 引き続き外国人県民第2世代の活躍を推進

(参考) 「かめりあ」における新型コロナウイルス感染症に関連した相談件数と内容(4/1~2/28)

区分	感染の心配	雇用労働	生活資金	教育	その他	計
県かめりあ	48	28	104	0	171	351
市町(11箇所)	450	1,253	4,006	208	5,261	11,178
合計	498	1,281	4,110	208	5,432	11,529

* 「その他」は特別定額給付金についての相談を含む